

次に、DonDonにいはまについてです。

本年8月28日木曜日の21時54分から毎週木曜日に南海放送にて放送されるDonDonにいはまですが、市の魅力や行政情報を市外へ発信するツールとしては非常にいい試みだと思いますが、目標や目的がないものだと単なる自己満足になってしまいます。

そこで、5点お伺いします。

1点目、この放送にかかる総額は年間で幾らになりますか。また、費用対効果はどれだけあると想定するのかお答えください。

2点目、この放送による目標は設定されているのでしょうか。例えば、市で行われるイベントや観光名所を発信し、観光人口を何%増やすとか、具体的な数値目標をお示しください。

3点目、この放送の目的は何か教えてください。目的がぶれてしまえば、何の意味もない放送になってしまいます。目的は複数でも構いませんが、主たる目的も併せてお答えください。

4点目、放送の内容を市民から公募して、市民参加型の番組にできないかお答えください。

5点目、公費を投入する以上、この番組が市長の政治活動や個人の宣伝に利用されることとは断じてあってはなりません。

現状では、出演の範囲や頻度に明確な制限がなく、市長が意図的に露出を高めることで、結果的に公費による政治的宣伝に当たる危険性を否定できません。これは市民に対して極めて不誠実であり、税金の不適切利用になります。

公費を利用した市長の政治活動に利用されるおそれはないか。また、不正利用につながらないように何か対策はありますか。

例えば、市長が今後出る場合は、年始と年末や特別なとき有限るなど、縛りを設ける等、具体的な対策をお答えください。

以上5点、お願いいいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） DonDonにいはまについてお答えいたします。

まず、放送にかかる費用総額と費用対効果についてでございます。

令和7年度の費用総額は、8月から3月までの本放送及び再放送各30回並びに特別放送等に係る業務委託料1,210万円であり、放送1回当たりに要する費用は約20万円となっております。

この費用で、愛媛県の総人口約126万人から目標視聴率6%を基に算出した視聴者数約7万6,000の方に本市の行政情報を広報できることに加え、観光面における誘客効果や本市広報への二次利用もできますことから、十分費用対効果があるものと認識しております。

次に、放送による具体的な数値目標につきましては、第六次長期総合計画の入込観光客数について、令和12年の目標値である311万人の達成を目指しております。

次に、放送の目的についてでございます。

主たる目的といたしましては、SNS等のネット媒体ではなく、地上波テレビによる高齢者層へのリーチという観点も含めて、県民、市民への本市の魅力発信でございます。

具体的には、市民の皆様に対しま

しては、市の事業等の可視化を図ることで、信頼感、一体感を構築するとともに、市政への参画促進を図ることを目指しております。市外の方に対しましては、本市でのイベント告知や施設の案内等を行うことで、交流人口や関係人口の拡大につなげたいと考えております。

次に、市民参加型の番組にできなかについてでございます。

本番組は、行政情報等を発信する番組となっており、基本は、アナウンサーによる取材方式で進めていますが、内容に応じて市民参加による番組制作を検討してまいります。

次に、私の政治的宣伝への利用のおそれ等についてでございます。

本番組は、本市の行政情報と併せて、私の公約を含めた重要施策等について発信するものであり、正当な広報活動であると考えております。当然、私個人の政治的宣伝に利用するものではございません。

○2番（伊藤義男）（登壇） 市長が棒読みで出演するような広報では、市民や市外に十分に伝わらないのは明らかであり、むしろプロのナレーターを起用するなど、伝わる工夫こそ必要ではないでしょうか。

そのことを強く申し上げておき、次の質問です。